第7章　滋賀県の観光

1．令和3年の観光入込客数

調査方法

①滋賀県観光入込客統計調査

県内の年間入込客数が1,000人以上見込まれる観光地について、市町から寄せられた報告を集計。

②宿泊旅行統計調査

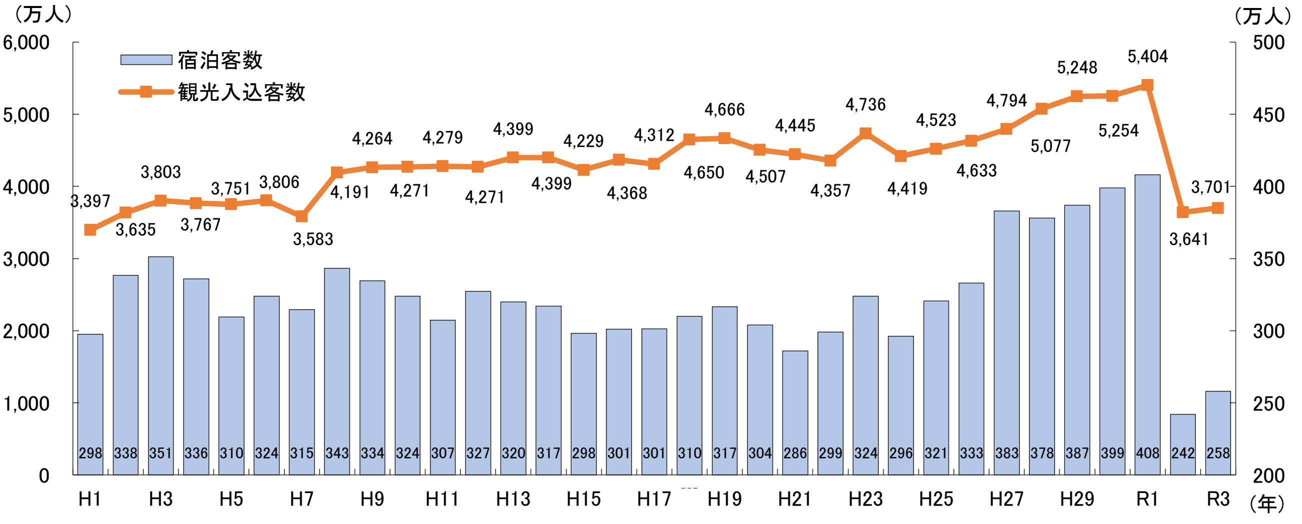
国土交通省観光庁が宿泊事業所に郵送またはオンラインにより調査を実施。

（1）観光入込客数

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響による都道府県間の移動制限や観光施設の入場制限、外国人の入国制限等により、観光需要が大きく落ち込む状況が続いた。このような中、宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」をはじめとする各種の需要喚起策を実施したことにより、観光入込客数は対前年1.6%増の37,007,374人、宿泊客数についても対前年 6.3%増の2,576,472人と一定の回復が見られたものの、依然として厳しい状況が続いている。

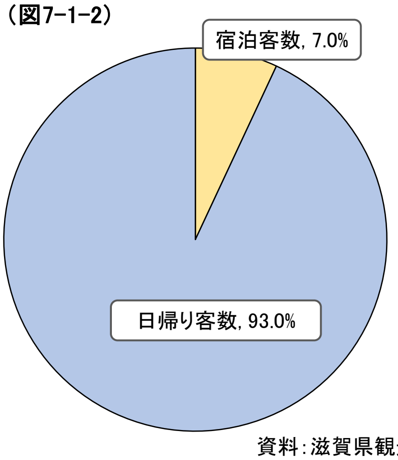
外国人観光入込客数については、対前年66.8%減の38,997人となり、年間を通して観光目的での入国ができない状況であったことから、2年連続で大幅に減少した（図7-1-1,2）。

◆観光入込客数の推移（図7-1-1）



資料：滋賀県観光振興局「令和3年滋賀県観光入込客統計調査」

◆日帰り客数と宿泊客数の割合（R3）（図7-1-2）

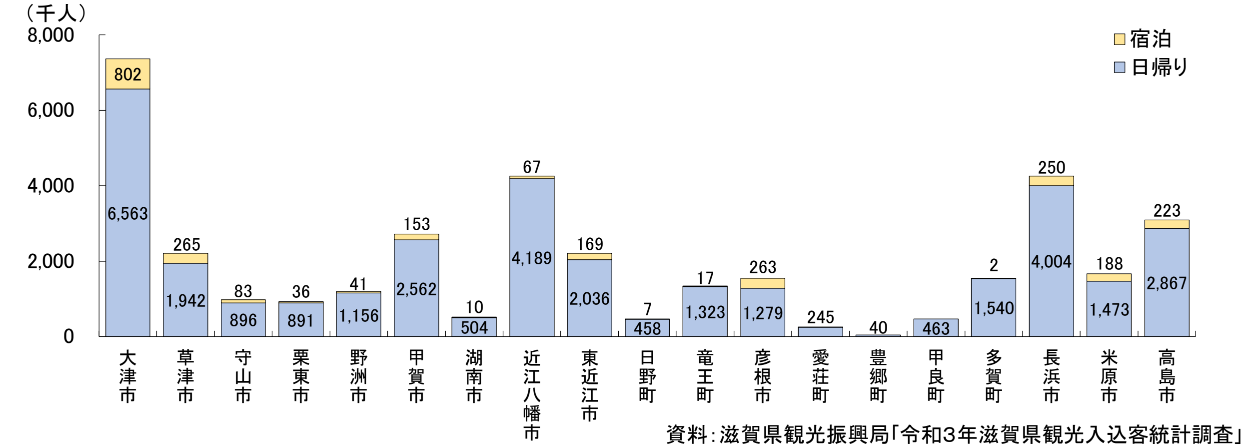


資料：滋賀県観光振興局「令和3年滋賀県観光入込客統計調査」

(2) 市町別観光入込客数

市町別の観光入込客数は、宿泊客を含む延べ数で「大津市」が約736万人で一番多く、次いで「近江八幡市」約426万人、「長浜市」約425万人と続いている（図7-1-3）。

◆市町別観光客数（図7-1-3）

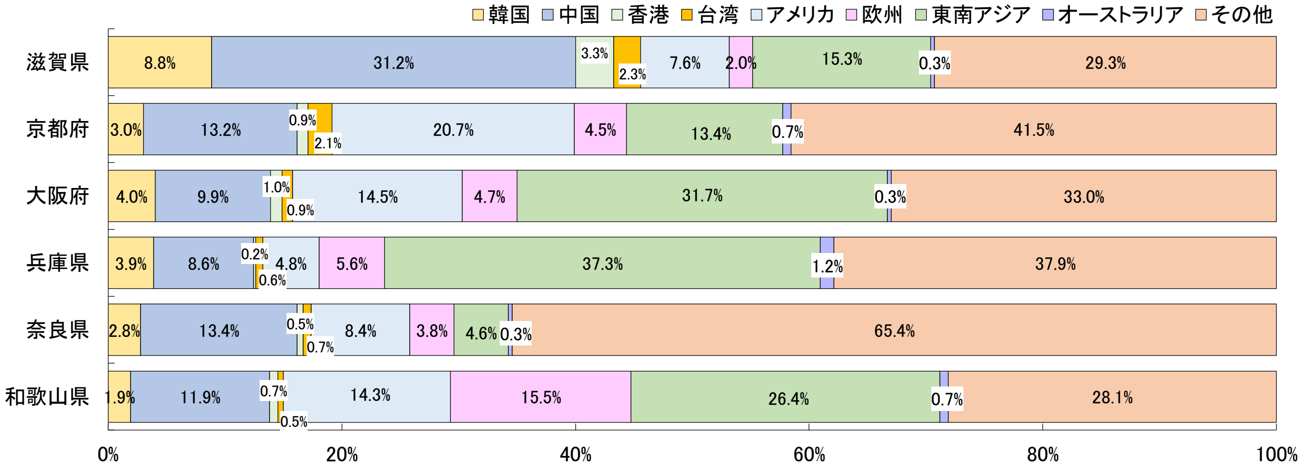


資料：滋賀県観光振興局「令和3年滋賀県観光入込客統計調査」

(3) 近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊者割合

本県の外国人宿泊者数については、前年は「台湾（28.5%）」が最も高くなっていたが、令和3年は「中国」が全体の31.2%を占めて最も高くなっている（図7-1-4）。

◆近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊数（図7-1-4）



注）欧州はドイツ・英国・フランスの3カ国
　　東南アジアはシンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピンの6か国
　　一部標準誤差率が30%以上の推計値あり

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査(令和3年)」

2. 令和3年の観光客の動向

(1)滋賀県観光統計調査の結果概要

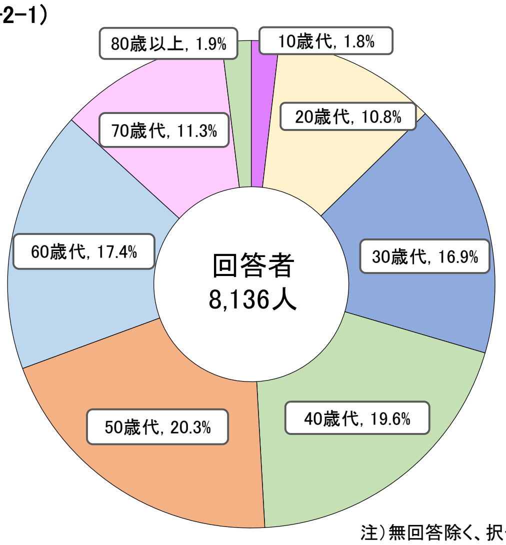
①調査方法

四半期ごとに県内の観光地30か所において、その地を訪れた観光客に聞き取り調査を実施。

②来訪者の内訳

来訪者を年齢別にみると、「50歳代」が20.3%と最も多く、続いて「40歳代」が19.6%である（図7-2-1）。また、居住地別にみると、「滋賀県」が43.7%で最も多く、続いて「大阪府」、「京都府」、「愛知県」の順となっている（図7-2-2）。

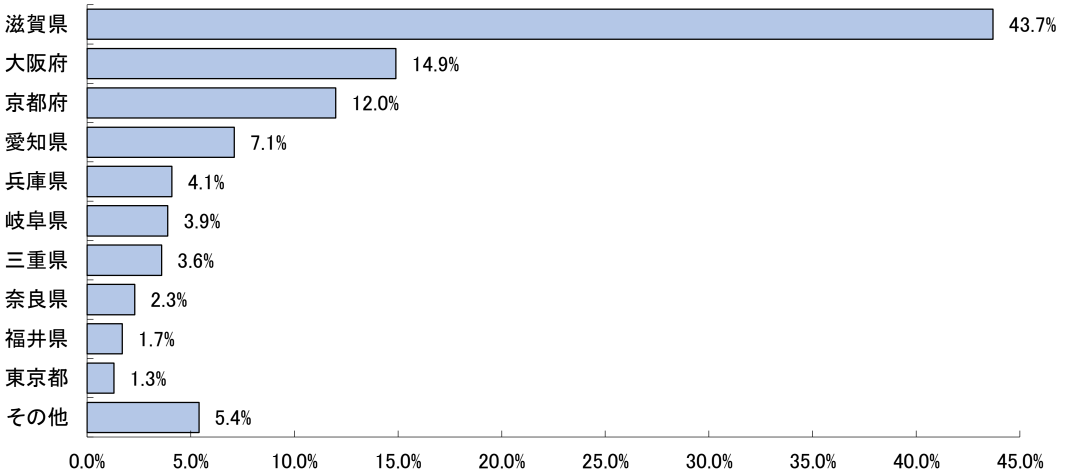
◆来訪者の内訳（年齢別）（図7-2-1）



注）無回答除く、択一回答

資料：滋賀県観光振興局 「令和3年度滋賀県観光統計調査」

◆来訪者の内訳（居住地別）（図7-2-2）



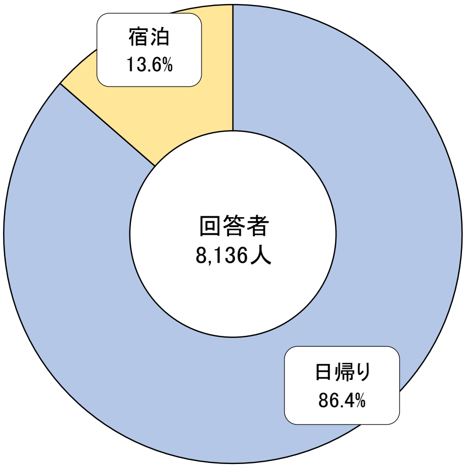
注）回答者：8,136人（※無回答除く、択一回答）

資料：滋賀県観光振興局 「令和3年度滋賀県観光統計調査」

③日帰り・宿泊動向

「日帰り」旅行は86.4%、「宿泊」旅行は13.6%であった（図7-2-3）。県内の宿泊数別にみると、「1泊」が84.5%と最も多くなっている（図7-2-4）。

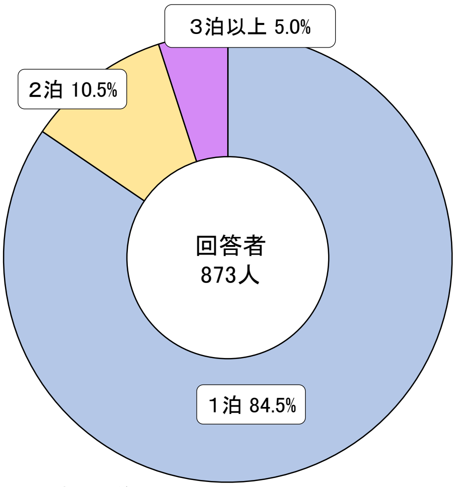
◆日帰り・宿泊動向（図7-2-3）



注） 無回答除く、択一回答

資料：滋賀県観光振興局 「令和3年度滋賀県観光統計調査」

◆県内宿泊の泊数（図7-2-4）



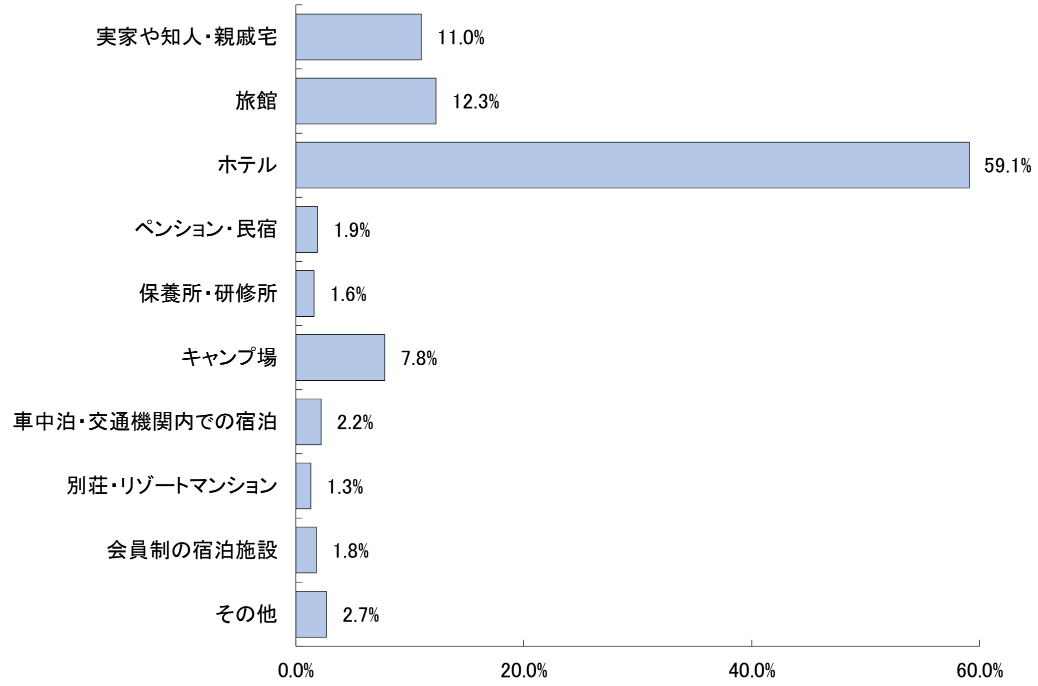
注） 択一回答

資料：滋賀県観光振興局 「令和3年度滋賀県観光統計調査」

④県内利用宿泊施設の内訳

県内宿泊者のうち、「ホテル」の利用が59.1%と最も多く、続いて「旅館」が12.3%、「実家や知人・親戚宅」が11.0%となっている（図7−2−5）。

◆利用宿泊施設の内訳（図7−2−5）



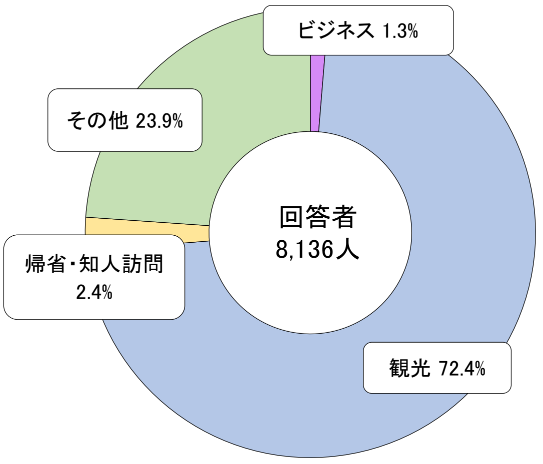
注）回答者873人　複数回答

資料：滋賀県観光振興局「令和3年度滋賀県観光統計調査」

⑤旅行の目的

旅行の目的別にみると、7割以上が観光であり、その内訳は、「自然の風景を見る」が42.4%で最も多く、続いて「神社仏閣・旧跡」が33.3%、「琵琶湖」が22.0%、「買い物」が18.8%、となっている（図7−2−6,7）。

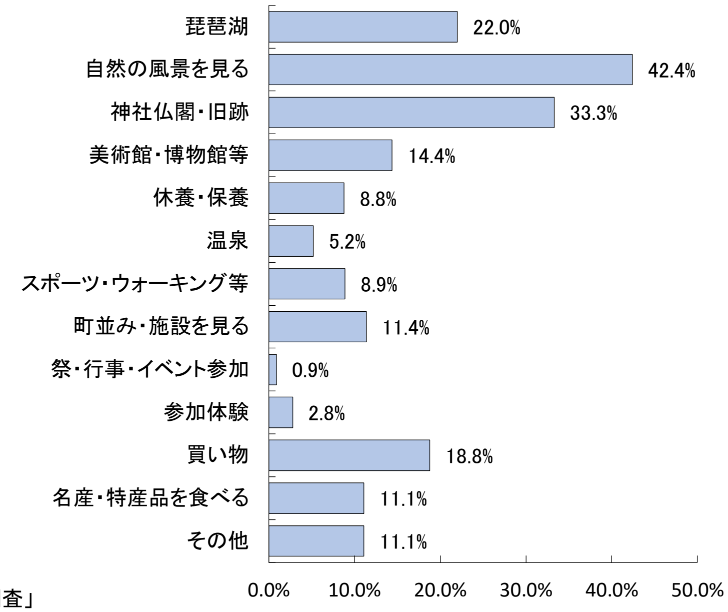
◆旅行の目的（図7−2−6）



注）無回答除く、択一回答

資料：滋賀県観光振興局「令和3年度滋賀県観光統計調査」

◆観光目的の内訳（図7−2−7）



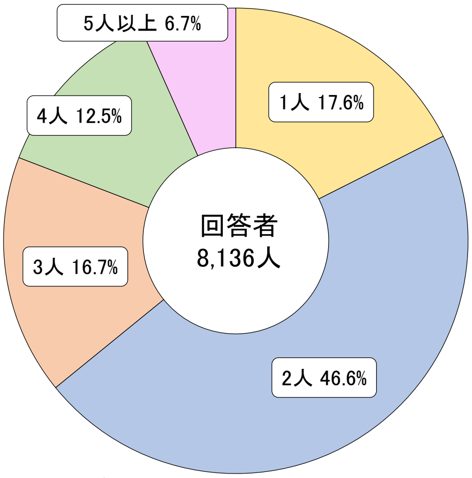
注）回答者：5,894人（※複数回答）

資料：滋賀県観光振興局「令和3年度滋賀県観光統計調査」

⑥旅行人数・同行者種別

人数別にみると、「２人」が46.6%と最も多く、続いて「１人」が17.6%、「３人」が16.7%である（図7-2-8）。また、２人以上の旅行者の同行者の内訳は、「家族」が76.4%と最も多く、続いて「友人」が21.5%となっている（図7-2-9）。

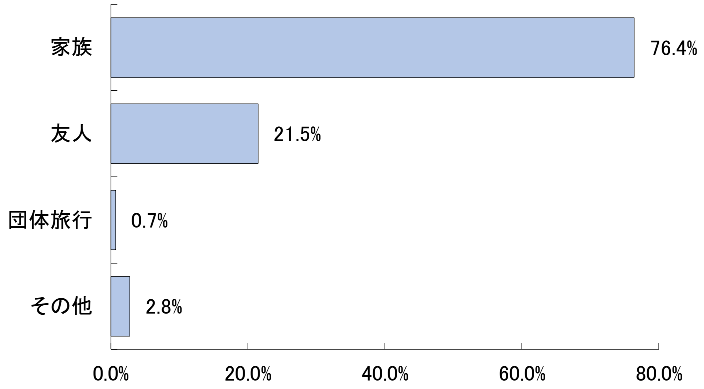
◆旅行人数と同行者（図7-2-8）



注） 択一回答

資料：滋賀県観光振興局 「令和３年度滋賀県観光統計調査」

◆同行者種別（図7-2-9）



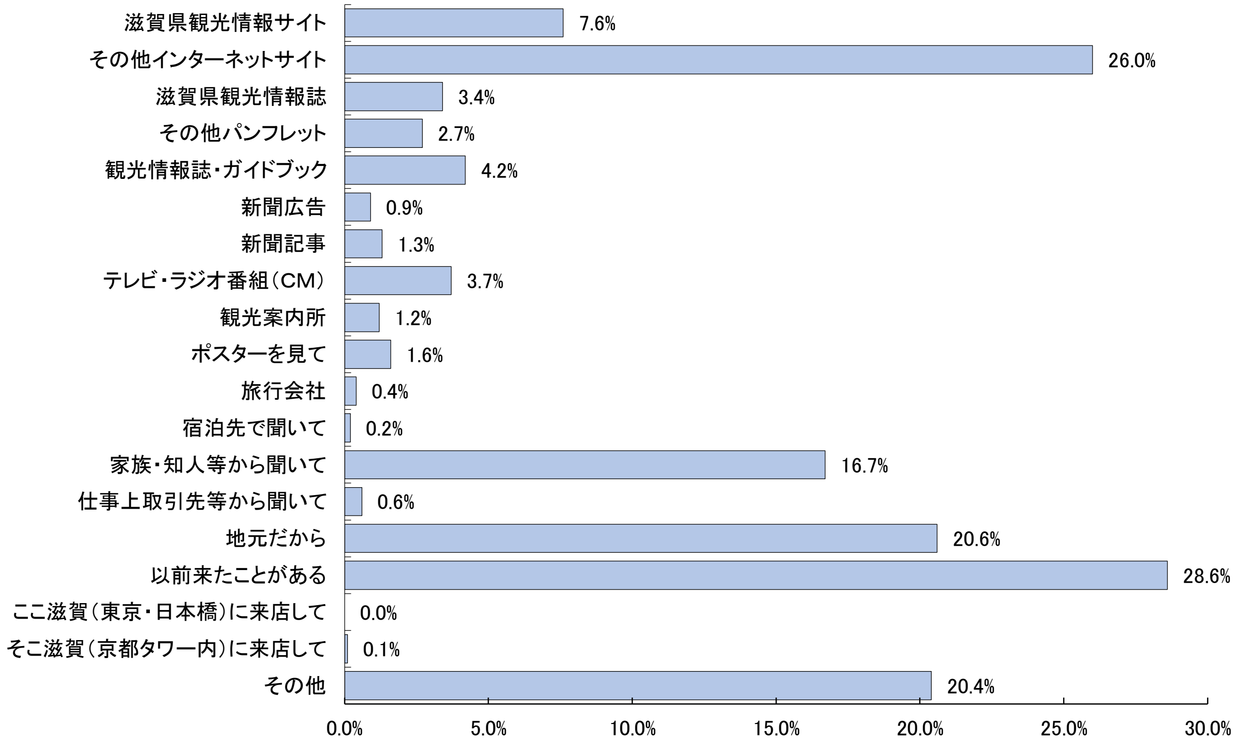
注） 回答者6,704人（※無回答除く、複数回答）

資料：滋賀県観光振興局 「令和３年度滋賀県観光統計調査」

⑦旅行を思い立ったきっかけ

観光目的の旅行者のうち、旅行を思い立ったきっかけを尋ねたところ、「以前来たことがある」が28.6%で最も多く、続いて「その他インターネットサイト」が26.0%、「地元だから」が20.6%、「家族・知人等から聞いて」が16.7%となっている(図7-2-10）。

◆旅行のきっかけ（図7-2-10）



注） 回答者8,136人（※無回答除く、複数回答）

資料：滋賀県観光振興局 「令和３年度滋賀県観光統計調査」